

第2節 資源循環プロジェクト

『もったいない』の心を大切に、まずは、ごみの発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）の2Rに特化してごみを減らし、それでも出たごみは再生利用（リサイクル）により循環型社会の形成を推進します。

【奈良市環境基本計画（改訂版）中間見直しの関連指標】

指標				令和元年度	令和2年度	目標値 (令和3年度)	担当	関連ページ
ごみ搬入量 (再生資源搬入量を除く。)(t)				89,771	85,858	91,000	廃棄物 対策課	31~36
家庭系ごみ搬入量(t)				56,313	56,443	53,700		
事業系ごみ搬入量(t)				33,458	29,415	37,300		
単年度 達成率	進捗率	波及 効果	効率性	推進会議のコメント				
5	4	4	3	コロナ禍において、家庭系は微増、事業系は減少という結果となっており、withコロナ時代における家庭系ごみの削減が重要となっている。県や他部署等の関係機関と連携し、引き続き食品ロス削減に取り組むとともに、脱プラスチックに向けた新しい取り組みを事業者や市民と共に推進していくことを期待する。				
総合評価		前年度からの進捗						
A								

1 一般廃棄物の現状

家庭系ごみ（家庭から排出されるごみ）は、平成11年（1999年）3月の全市9種分別（燃やせるごみ、燃やせないごみ、大型ごみ、有害ごみ、プラスチック製容器包装、空き缶、ガラスびん、ペットボトル、飲料用紙パック）の導入を契機に減量が進み、令和2年度（2020年度）の搬入量はピーク時の平成10年度（1998年度）より約34%減少しています。

また、事業系ごみ（事業所等から排出される一般廃棄物）についても、一般廃棄物収集運搬業許可業者に対する搬入の指導や、自主的にごみ減量に取り組む事業所の増加により、平成13年度（2001年度）以降減量が進み、令和2年度（2020年度）の搬入量はピーク時の平成12年度（2000年度）より約51%減少しています。（新型コロナウイルス感染症の影響により、事業系ごみの搬入量が大きく減少）

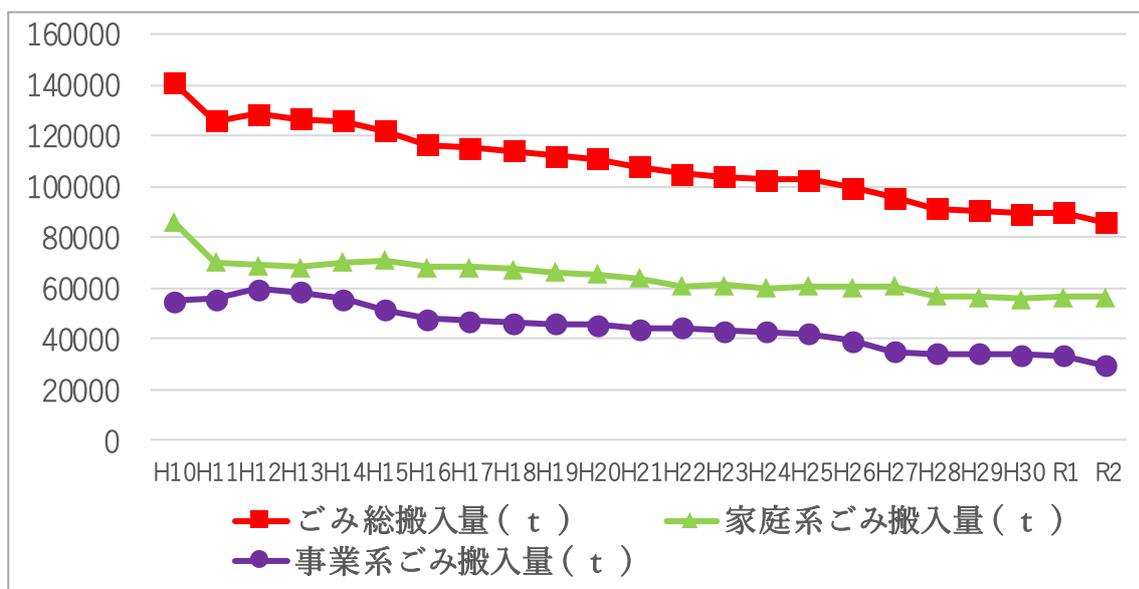
今後も循環型社会の形成を推進するため、市民や事業者にごみの減量意識の向上や適正排出を目的とした啓発や広報を実施します。

(表2-2-1) 年度別ごみ搬入量 (単位: t)

年度	ごみ 総搬入量	家庭系ごみ 搬入量	事業系ごみ 搬入量	対前年度増減率		
				総搬入量	家庭系	事業系
平成10(1998)	140,995.61	86,011.66	54,983.95	-	-	-
平成11(1999)	125,706.03	70,197.25	55,508.78	-10.8%	-18.4%	1.0%
平成12(2000)	128,663.33	68,998.79	59,664.54	2.4%	-1.7%	7.5%
平成13(2001)	126,560.77	68,172.17	58,388.60	-1.6%	-1.2%	-2.1%
平成14(2002)	125,765.05	70,079.96	55,685.09	-0.6%	2.8%	-4.6%
平成15(2003)	121,998.64	70,717.75	51,280.89	-3.0%	0.9%	-7.9%
平成16(2004)	116,179.29	68,276.33	47,902.96	-4.8%	-3.5%	-6.6%
平成17(2005)	115,174.68	68,055.96	47,118.72	-0.9%	-0.3%	-1.6%
平成18(2006)	113,906.84	67,537.15	46,369.69	-1.1%	-0.8%	-1.6%
平成19(2007)	112,101.59	66,300.39	45,801.20	-1.6%	-1.8%	-1.2%
平成20(2008)	110,951.10	65,380.16	45,570.94	-1.0%	-1.4%	-0.5%
平成21(2009)	107,873.34	63,876.20	43,997.14	-2.8%	-2.3%	-3.5%
平成22(2010)	105,019.60	60,843.65	44,175.95	-2.6%	-4.7%	0.4%
平成23(2011)	104,005.40	61,039.71	42,965.69	-1.0%	0.3%	-2.7%
平成24(2012)	102,723.84	59,867.02	42,856.82	-1.2%	-1.9%	-0.3%
平成25(2013)	102,618.74	60,689.69	41,929.05	-0.1%	1.4%	-2.2%
平成26(2014)	99,567.94	60,258.61	39,309.33	-3.0%	-0.7%	-6.2%
平成27(2015)	95,515.95	60,605.70	34,910.25	-4.1%	0.6%	-11.2%
平成28(2016)	91,137.13	56,945.94	34,191.19	-4.6%	-6.0%	-2.1%
平成29(2017)	90,614.78	56,471.79	34,142.99	-0.6%	-0.8%	-0.1%
平成30(2018)	89,474.59	55,783.94	33,690.65	-1.3%	-1.2%	-1.3%
令和元(2019)	89,771.16	56,313.10	33,458.06	0.3%	0.9%	-0.7%
令和2(2020)	85,857.21	56,442.71	29,414.50	-4.4%	0.2%	-12.1%

※ 平成16年度以前は月ヶ瀬村・都祁村を含まない。

(図2-2-1) ごみ搬入量の推移



(表2-2-2) 令和2年度(2020年度)のごみ搬入量

系列	ごみの種類	搬入量 (t)	総搬入量に対する割合	系列に対する割合
家庭系	可燃	45,168.04	52.6%	80.0%
	不燃	7,015.41	8.2%	12.4%
	大型	2,660.12	3.1%	4.7%
	埋立	1,596.81	1.9%	2.8%
	有害	2.33	0.0%	0.0%
	小計	56,442.71	65.7%	100.0%
事業系	可燃	29,209.49	34.0%	99.3%
	不燃	205.01	0.2%	0.7%
	埋立	0.00	0.0%	0.0%
	小計	29,414.50	34.3%	100.0%
総搬入量		85,857.21	100.0%	

【実施事業】

1 再資源化事業

(1) 再生資源定期収集

平成4年(1992年)7月から空き缶と空きびんの分別収集をモデル地区で開始し、平成9年(1997年)12月にはペットボトル・飲料用紙パックを回収品目に加え実施してきました。

全市での再生資源分別収集として、平成11年(1999年)3月22日から、空き缶・ガラスびん・ペットボトル・飲料用紙パック及びプラスチック製容器包装の分別収集を開始し、再資源化を図っています。

(表2-2-3) 再生資源定期収集の回収実績

単位：kg

種 別		平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)
空き缶	アルミ	193,817	192,419	184,690	182,468	193,159
	スチール	210,649	197,519	204,040	206,926	209,255
	計	404,466	389,938	388,730	389,394	402,414
ガラスびん		1,665,362	1,686,776	1,547,029	1,610,698	1,587,503
ペットボトル		383,725	385,770	414,440	392,035	407,035
紙パック		62,828	64,052	63,275	54,321	61,637
合 計		2,516,381	2,526,536	2,413,474	2,446,448	2,458,589
種 別		平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)
プラスチック製容器包装		3,201,840	3,184,970	3,253,950	3,272,560	3,366,820

(2) 公共施設資源回収

平成4年（1992年）9月から、公共施設における空き缶回収を開始し、平成9年（1997年）12月にはペットボトル・飲料用紙パックを回収品目に加え、現在、市役所・出張所・行政センター・公民館・人権文化センター・連絡所等を拠点として回収を行い、再資源化を図っています。

(表2-2-4) 公共施設資源回収実績

単位：kg

種 別		平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)
空 き 缶	アルミ	18,483	15,626	17,110	16,709	22,717
	スチール	27,725	23,438	25,666	18,843	24,611
	計	46,208	39,064	42,776	35,552	47,328
ペットボトル		51,385	37,270	34,480	49,585	65,460
紙パック		9,732	7,188	7,380	9,084	9,168
合 計		107,325	83,522	84,636	94,221	121,956

(3) 環境清美センター内資源回収場での資源回収

環境清美センターに自己搬入された再生資源を分別回収し、ごみ減量と再資源化を図っています。

(表2-2-5) 環境清美センター内資源回収場での資源回収実績

単位：kg

種 別		平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)
空 き 缶	アルミ	9,024	7,675	7,570	9,063	8,404
	スチール	13,536	11,513	11,354	10,221	9,104
	計	22,560	19,188	18,924	19,284	17,508
ガラスびん		64,938	70,694	68,191	72,122	126,207
ペットボトル		14,040	13,530	13,680	12,060	12,195
紙パック		1,590	1,170	1,065	1,065	915
合 計		103,128	104,582	101,860	104,531	156,825

種別	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)
新聞	70,950	66,430	54,350	32,780	20,240
雑誌	158,130	161,930	131,709	140,720	128,360
ダンボール	168,730	164,610	123,744	83,420	83,420
布類等	94,160	74,860	68,200	65,457	33,565
合 計	491,970	467,830	378,003	322,377	265,585

(4) 発泡スチロール製食品トレイ回収

平成7年度（1995年度）から市役所・出張所・行政センター・公民館・人権文化センター等を回収拠点として、発泡スチロール製食品トレイを回収し、ごみ減量と再資源化を図っています。

(表2-2-6) 発泡スチロール製食品トレイ回収実績

単位：kg

平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)
915	800	820	590	945

(5) 使用済小型電子機器の回収

平成26年（2014年）7月から、市役所・出張所・行政センター・民間施設等、市内の25か所を回収拠点として使用済み小型電子機器の回収を開始し、ごみ減量と再資源化を図っています。



令和2年度（2020年度）

回収実績 10.03t(令和2年4月～令和3年3月)

(6) 生ごみ処理機器購入助成

家庭内で発生する生ごみを自家処理するため生ごみ処理機、生ごみ堆肥化容器、ダンボールコンポストを購入する市民に対し、購入費の一部を助成しています。

○助成内容

- ・ 生ごみ処理機 購入価格の2分の1（限度額30,000円）で1世帯1基
- ・ 生ごみ堆肥化容器 購入価格の3分の2（限度額 7,000円）で1世帯2基以内
- ・ ダンボールコンポスト 購入価格の2分の1（限度額 2,000円）で1世帯年4回以内（同一月に複数回の申請は不可）

(表2-2-7) 生ごみ処理機器購入助成実績

単位：件

種 別	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)
生ごみ処理機	43	34	72	64	89
生ごみ堆肥化容器	26	18	36	53	63
ダンボールコンポスト	—	7	11	4	8
合 計	69	59	119	121	160

2 ごみ減量啓発キャンペーン

(1) ごみ減量及び美化に関する啓発作品（ポスター）の募集
(夏休み期間中)

廃棄物問題に対する意識啓発を目的に、市内の小・中学校からごみ減量及び環境美化に関する啓発作品（ポスター）を募集する。

*令和2年度（2020年度）は実施なし。

写真は令和元年度実施時の表彰式直後に撮影したもの



(2) 「ならクリーンフェスタ」の開催

廃棄物に関する問題意識の高揚とごみ減量・リサイクル促進の必要性を訴える啓発活動の一環として、例年、3R推進月間及び食品ロス削減月間である10月頃に開催しています。

令和元年度（2019年度）は奈良市役所本庁舎噴水前広場を会場に開催しましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大のため開催を見合わせました。



3 ごみ減量キャラバン

様々なごみ減量活動に取り組んでいる市民団体、「奈良市ごみ懇談会」と協働で市内の公民館等において「ごみ減量キャラバン」を平成24年度（2012年度）から開催し、ごみの分別排出の啓発やごみ減量の手法の紹介を行っています。令和2年度（2020年度）は7月27日の平城小学校を皮切りに計6か所の小学校、公民館及び集会所で開催しました。

（新型コロナウイルス感染拡大により開催回数減少）



4 奈良市ごみ分別アプリ

スマートフォン等で使用していただける「奈良市ごみ分別アプリ」を平成27年（2015年）3月1日から公開しています。

ごみカレンダーやごみ分別事典等ごみに関する多様な情報をアプリで確認することができます。



5 もったいない陶器市

もったいない陶器市は、まだまだ使える陶磁器製食器を持ち寄り、欲しい人に持って帰ってもらうイベントです。

いらなくなった陶磁器製食器は捨てると燃やせないごみになってしまいますが、欲しい人に使ってもらうことでごみを減らすことに繋がります。



（表2-2-8）もったいない陶器市開催実績

	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)
開催回数 (回)	45	41	34	2
回収量 (kg)	21,914	20,850	20,276	1,074
リユース量 (kg)	13,426	12,647	13,273	642
リユース率 (%)	61	61	65	60

※令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大に伴い2回のみの開催となりました。